

普及活動情勢報告（令和2年4月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

ニラ生産者の収量アップを目指せ！～定期巡回を開始～



4月14日、収量アップを目的とするJA高知県香美地区園芸部ニラ部会員の個別巡回をスタートしました。

農業改良普及課では、JA営農指導員と協力して巡回し、農家への栽培概要の聞き取りを行うとともに、現在のニラ生育状況や管理方法を指導しました。また、次作の作付け計画と栽培管理方法について話し合いました。

農業改良普及課では、今後も定期的に巡回し、対象者、生産者の栽培技術向上と生産安定を図ります。

香南市実践型研修ハウス第2弾で営農スタート



4月10日、農業改良普及課は、JA営農指導員と共に実践型研修ハウスで営農を開始した新規就農者に対して、作付け計画の確認や肥培管理等について指導しました。

研修ハウスは昨年度に新たに3棟30aが建設され、合計6棟60aとなりました。新しいハウスで栽培する新規就農者はトラクター、管理機を市からレンタルし、耕耘、畝立てなどの準備を進めています。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携して新規就農者の早期の経営安定に向けて支援していきます。

水晶文旦部会が現地研修会を開催



4月3日、JA香美地区水晶文旦部会が現地研修会を開催し、生産者4名が参加しました。

農業改良普及課は「ミカンハダニ防除マニュアルー薬剤抵抗性対策ー」を配布し、抵抗性発達の要因や防除方法の工夫について説明しました。参加者からは「以前から気門封鎖剤を多用している」「天敵を使っている」「農薬が効かなくなってきた困っている」等の発言があり、ハダニの防除方法に対して関心が高まっています。

農業改良普及課は、他のカンキツ関係の部会にもマニュアルを配布し、適切な防除方法を普及していきます。

オクラのセル苗による機械移植試験を支援しました！



4月11日、(株)南国スタイルのは場でオクラのセル苗による機械移植試験を実施しました。

播種作業の労力軽減や、作業受委託により高齢者が農機を所有していなくても栽培を始められることを目的としています。今年は37aで機械移植し、5aあたりの移植時間は1時間20分でした。「苗がそろってればもっと早かった」「トンネル被覆、追肥や防除まで機械化していきたい」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も作業の労力軽減に向けて、オクラ栽培の機械化や省力化に取り組んでいきます。

ニラの生育結果を I o P 研究に活用



農業改良普及課は、香南市のニラ農家5戸とJA高知県香美地区と協力して、週毎の草丈や葉数、分けつ数の測定及び簡易土壌分析といった生育状況や収量の調査とあわせてニラの刈り取りから次回の刈り取りまでの生育の様子を定点カメラで撮影しています。

調査結果は、農家や営農指導員と共有し、栽培指導に活用するとともに、調査データをIoPプロジェクト研究の基礎データとして蓄積し、収量予測等につなげていく考えです。

農業改良普及課は今後も調査の継続とともに、結果の栽培管理指導への活用やIoP研究の現地調査に協力していきます。